

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		アジア保護地域イニシアティブ構築推進事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成25年度～(平成27年度)		担当課室	国立公園課		課長 桂川 裕樹	
会計区分		一般会計		施策名	5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		生物多様性条約決議X/31(保護地域)-2.(地域レベル) 生物多様性国家戦略2010-2020-第2章第7節1.3		関係する計画、 通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		アジアで初めての国立公園関係者等による「第1回アジア自然公園会議」(平成25年11月・仙台)の開催、同会議での「アジア保護地域憲章」の策定等を通じ、アジア地域における国立公園等の保護地域に関する協力体制「アジア保護地域イニシアティブ」を構築し、アジア各国の保護地域の管理能力の向上に貢献する。 また、「第1回アジア自然公園会議」及び「第6回世界公園会議(平成26年・オーストラリア)」等において、三陸地域における減災や復興への国立公園の貢献、地域社会との協働による国立公園管理などについて我が国から発信することにより、我が国の国立公園の国際的な価値を高め、ひいては観光立国の取組や三陸復興にも貢献する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		① アジア自然公園会議を開催し、アジア保護地域憲章を策定するとともに、アジア地域における保護地域に関する協力体制を構築する。 ② アジア自然公園会議、世界自然公園会議等において、三陸復興国立公園や、我が国の地域との協働による国立公園管理について発信する。 ③ アジア保護地域憲章に基づき、保護地域の管理能力向上等のための国際ワークショップの開催や情報交換を行う。						
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	120
			補正予算	-	-	-	-	
			繰越し等	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	120	
		執行額	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		本事業はアジア保護地域イニシアティブの構築によるアジア各国の保護地域管理能力の向上と、我が国からの情報発信による我が国の国立公園の国際的価値の向上を目的としており、定量的な目標は設定できない。		成果実績	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		アジア各国の保護地域管理能力の向上及び、我が国の国立公園の国際的な価値の向上は、定量的事業箇所や件数を示すことができない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
					-	(-)	(-)	(-)
単位当たり コスト		アジア各国の保護地域管理能力の向上及び、我が国の国立公園の国際的な価値の向上は、単位当たりのコストを算出することにはなじまない。		算出根拠	-			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0	2	-				
	環境保全調査費	0	118					
計	0	120						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	保護地域の管理能力の向上は、生物多様性条約COP10で採択された愛知目標の達成に資するものであり、優先度が高い。また、国立公園等の保護地域の管理に関する国際的な取組であり、地方公共団体、民間事業者等とも協力しつつ国のイニシアティブを進めるべき事業。国立公園の国際的な価値の向上により、三陸復興、観光立国にも資する事業であり、国民のニーズも高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札により支出先を選定することを原則としつつ、少額のものにあつては複数者から見積を取得し、最も安価な者を支出先として決定することから、競争性を確保した上で適切な支出先を選定する。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	アジア各国の保護地域管理能力の向上及び、我が国の国立公園の国際的な価値の向上のため、「アジア自然公園会議」において「アジア保護地域憲章」の策定、「アジア保護地域イニシアティブ」の構築を進めるとともに、我が国から情報発信をするものであり実効性は高い。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		本事業は、アジア各国の保護地域管理能力の向上及び、我が国の国立公園の国際的な価値の向上を目的として、生物多様性条約決議及び生物多様性国家戦略に基づき実施するものであり、国立公園及び生物多様性条約を所管する環境省が実施する必要がある。	
予算監視・効率化チームの所見			
	—	「アジア保護地域イニシアティブ」を構築し、アジア各国の保護地域の管理能力の向上に貢献することは大変重要だが、イニシアティブを構築するのみでなく、これをいかに運営し、アジア各国の保護地域の管理能力の向上を図るかということを次のステップとして検討・実施するよう努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—